



脱衣所はあえてグリーンに。



薪ストーブは静岡本のAGNI。



親族や将来のことを考えてスロープに。



リビング、ダイニング、キッチンがひと続きになる開放的な空間。テーブル、イス、カウンター等々ご主人の手作り。



カラーリングは奥様がこだわって決めたもの。海の家をイメージしたそう。表面はDログを採用してログハウスらしさを出した。



## 瀬戸の海辺でセルフビルド マリンカラーのログハウス

ご主人は夢のセルフビルドを。奥様はそこに彩りを。ウッディなログ壁にはオールドアメリカなテイストがマッチする。瀬戸の潮風に、マリンカラーも気持ちよく、ログハウスの生活が、今、始まったばかり。

香川県 西本邸

西本さんご夫妻は、ご自宅用のログハウスをセルフビルドした。

### 瀬戸大橋を望む海沿いに 丸い窓のログハウス



土間は標準仕様1.8mを1mに詰めた。靴棚はご主人の手作り。

丸亀は、瀬戸大橋の四国側のたもとほど近く。海沿いに出れば、早春の瀬戸内は穏やかに凪いでいた。海辺から徒歩一分。マリンカラーに丸い窓も可愛らしく、ポップにして、木の趣を程よく伝えるログハウスが潮風に気持ちよさそうに佇む。

「ログハウスを自分の手で建てたかったんです。その夢が叶いました」オーナー、西本さんは潜水士さん。最近まで居酒屋を営んでいた奥様と二人三脚で、昨年の秋に、この木の家を完成させたばかりだ。

その夢の実現の大きな後押しになったのが、セルフビルドに積極的なログハウスメーカーとの出会い。それが、サエラホームだった。

広島を拠点とするこのメーカーの住宅向け2階建プラン「RX48 Basic」をベースにしたのがこの家だ。

### オール人力で棟上げを 仲間と共にセルフビルド

着工は、一昨年の11月。日曜日だけここに来て作業した。簡単そうに思えたログ組だったが、やってみると思う以上に手がこずらされた。

「はじめは難しく感じました。慣れてきたのは図面が見られるようになってからです。1階が終わった頃には「イケるな」と思いました」

助かったのは仲間のサポートだ。毎週、誰かしらが来てくれて、常時3〜4人の体制を組むことができた。もちろん、マスク着用でソーシャルディスタンスには気をつけながら。最大の山場が棟上げ。それは地道に進めて半年ほど経った頃のこと。

その方法は、驚くなかれ……！「オール人力でやりました！」ユニックやクレーンは一切なし。全て人の手だけで棟木を上げたという。しかし、どうやって？

「みんなで足場に乘って、手で渡しながら、上げて行ったんですよ」棟木の長さは約9m。100kgはゆうに超えるものだ。それを男手総勢10人によって成し遂げてしまった。

内装に入ってから、ほぼ、ご主人1人だけの作業になった。「雨でもできるから、落ち着いて、



清潔感あふれる2階のトイレ。



寝室も屋根が高く広々とした印象。



ベランダの向こうに瀬戸内海。



2階廊下で天井を見上げる。



廊下の隅に PC デスク。



2階廊下部分。

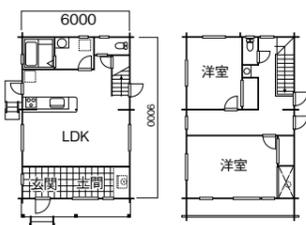
「何でもできる。ビスも、クギも口グ壁に直接打てる。手作りで家をお洒落にするのは楽しいものですね」  
住み始めておおよそ半年。ご主人は、もっぱらDIYに夢中だ。  
「まだまだ未完成です。外構もこれからやらないといけないですね」  
そして、奥様は腕がうづく。  
「コロナが落ち着いたら、仲間でもホームパーティを開きたいですね」  
竣工記念パーティは、このご時世でまだお預け。だけど、手伝ってくれた

### ご主人はDIYに夢中 奥様はホームパーティが憧れ

ター、キッチン棚と、今や手掛けた多くの作品に囲まれる日常だ。  
そして、2階へ上がる。目玉はなんと、2階にもゲストルーム。一歩入って、思わず見上げてしまった。  
その天井の高いこと！  
「少し積み増しました。天井を貼る時には苦労しましたが(笑)」  
入って左手には、煙突が立つ吹き抜け。手すりから、ついでを覗き込みたくなる空間のつくりが面白い。  
壁には例の丸い窓。なんだか潜水艦にいるよう？そこから覗く不思議な感じ。そして、視線を左にやると掃き出し窓の向こうに広がる瀬戸内海。  
「ベランダに出て朝日を浴びながら、海を眺めるのが好きなんです」  
パノラマの後は瀬戸大橋を眼前に散歩を楽しむのが奥様の日課だそう。

## KIT HOUSE Type 1

### キットハウスアイテム RX-48-Basic-A



1F 54.00㎡  
2F 52.38㎡

### サエラホームの ワンポイントアドバイス

プランNo.「RX-48-Basic-A」をベースに施主様のこだわりで間取り、デザインを変更されました。特に施主様のこだわりが、前面のみD-LOGの壁にしたいとのご要望でした。  
外部壁3面は角ログで、前面のみD-LOGとガルパニウムというハイブリッドウォールのおしゃれな顔になりました。  
またお仕事柄、オフホワイトとオーシャンブルーのツートンカラーでまとめセンスの良さが引き立ちます。

仲間に感謝を伝えたい。みんなもこの家に愛着を持ってくれている。  
「ここは自分がやった」なんて、言ってくれるのも嬉しいですね」  
薪ストーブに用意したダッジオーブン、そして、ピザプレートも欲しい。いずれベランダでは、野菜とハーブ作りも始めるつもり。朝どれが彩りを添えるのに、鳥の丸焼きや、ピザなんて良さそう。奥様も夢が膨らむ。  
新鮮な生活は始まったばかり。その全てが手作りだ。船出は順調、瀬戸の海は、今日も穏やかに凪ぐ。

取材協力/株式会社サエラホーム <http://www.saelahomes.com/>  
広島県広島市南区出島 2-20-12 TEL. 082-256-4550



2階ゲストルーム。ホームシアターにしてあるので、いずれ仲間が集まって上映会を開きたい。



ゲストルームを逆側から。右奥が吹き抜けで薪ストーブの煙突が見える。



スタイリッシュなスクルトン階段。

### 開放的なリビングダイニング 天井が高いゲストルーム

「私に興味なんです」  
奥様は、実は、居酒屋を営む前は、ヴィンテージの古着屋での勤務が長かったそう。なるほど、なるほど。  
そしてアンティーク調の家具は…、  
「ほとんどが主人の手作りです」  
なんと！その完成度の高さはもちろん、デザインがなかなかだ。ダイニングテーブル、イス、下駄箱、カウン

じっくりと楽しめましたよ(笑)」  
そして、時折、奥様も参加。  
「材料を切ったり、フィニッシャーを打ったり、楽しかったです(笑)」  
サエラホームは、時折見に来てくれて、ポイントをおアドバイス。それが、大いに助けになった。  
そして、竣工が昨年の9月。  
「やったな！って思いました」  
これはオレが建てた。やればできるんや。ご主人は笑顔で話す。